生徒指導だより　NO.１２

令和３年１月８日

１月の生活目標～初心に返って生活しよう～

２０２１年が始まりました。３年生にとっては卒業まで残すところ４２日をきります。また、１・２年生にとっては、３学期は次の学年への準備の期間となります。１学期の前の「０学期」とも言えるでしょう。だから３学期の始まりである１月は、「初心に返って生活しよう」です。

まずは下の投稿を読んでみてください。

おとなに聞いてほしい

三小田　陽＝12

僕は福岡市の小学校に通う６年生です。福岡市の学校では、２カ月半以上続いた休校での勉強の遅れを取り戻すために、授業時間を短縮して授業の数を増やすことや行事の削減、また、夏休みの短縮も決まりました。

これから暑い夏にマスクをして、友達と距離を保って、急いでたくさん勉強する。考えただけで息が苦しくなり、学校に行くのがつらいと感じます。僕たちはロボットではありません。

体育や調理実習などもやりたいです。プールや運動会などの行事もなくなります。体育や行事で活躍する友達もいっぱいいます。楽しみにしていた修学旅行も行えるかどうか今のところ分かりません。

子どもの時にしかできないことがたくさんあります。勉強も大切なことだと思いますが、友達と遊んだり、ケンカして仲直りしたりして学ぶこともとても大切だと思います。

このまま詰め込むしかないのでしょうか。本当に他にできることはないのでしょうか。大人に僕たち子どもの気持ちや意見を聞いてもらいたいと強く思います。

（福岡県太宰府市・小学生）

どうでしょうか？小学６年生の男の子の気持ちが、皆さんには分かるような気がしませんか？昨年はコロナウイルスの影響によって、様々なものが中止になったり、延期になったりしました。しかし、**皆さんは学校が再開したときどんな気持ちだったでしょうか？**それを思い出してほしいと思います。「勉強を頑張ろう」「みんなに会えてうれしい」「やっぱり学校っていいな」色々なことを考えて学校に登校したはずです。その気持ちが初心です。

２０２１年が始まります。コロナウイルスの影響は去ってはいませんが、２０２１年を作るのは皆さんです。皆さんの手で西方中学校を更により良い学校にしていきましょう。

最初に話をしたこと　【西方中のテーマ】

「当たり前のことを当たり前にできる（凡事徹底）」

＝自分に関わる人を幸せにする

当たり前なこと（凡事）も人を感動させたら、それはすばらしいこと（非凡）。

毎日のあいさつ
脚下照顧（靴箱のかかとをそろえること）
自転車の前輪を車止めにつけて停車
３分前までに授業の準備、着席
自問清掃
下校時のタスキの着用
整った身だしなみ
公共物（学校のもの）を大切にする。

→ **「心の土台」** を作るため。

【凡事徹底をなぜ行うのか】

土台のできた人間＝「社会に通用する人間」

「そうなっていくために」

心のコップを上向きにすること＝素直な人間は必ず伸びる

３学期は、非常に短い学期です。２学期の半分しかありません。短いからこそ、６月の学校再開時の気持ちを持続させていきたいものです。それぞれの学年が修了する時、「この学年でよかった」「このクラスで良かった」「西方中学校でよかった」という気持ちになれるよう、３学期を準備していってほしいと思います。

参照：西日本新聞（2020/7/3）　**こども面より**　https://www.nishinippon.co.jp/item/n/622784/